

県下一周駅伝で郷土選手が活躍

第65回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会



↑郷土入りの2日目、タスキを渡す中橋選手（写真右）



↑4日目、力走を見せる竹口選手（写真右）
（写真提供：南日本新聞社）



↑1日目、タスキを受け走り出す田ノ上選手（写真左）
（写真提供：南日本新聞社）

大会では、3人とも3回ずつ出走。3人の活躍もあり出水チームは、郷土入りとなる2日目は、日間2位と好成績をおさめたほか、総合タイムでは昨年より14分35秒記録を短縮し躍進賞を受賞しました。

チームの主将として今大会に臨んだ中橋選手はチームをうまくまとめ上げ、走ってはいずれも区間上位でゴールする力走をみせました。竹口選手は、4日目の7区で区間賞を受賞する活躍、田ノ上選手は主要区間を任され、粘り強い走りを見せました。

2月17日から21日の5日間の日程で53区間588.1^{km}にわたってタスキをつなぐ、第65回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催され、本町から、中橋信人さん（本町・東町漁協）、竹口俊さん（川床下・東町漁協）、田ノ上尚吾さん（菅牟田・長島町役場）、の3人が出水チームの選手として出場しました。